

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	こどもトレーニングハウス・にじいろバナナ			
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日		～	2025年 4月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		～	2025年 4月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動に特化した遊具が充実している。</li> <li>・感覚統合に特化した大型遊具が揃っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの遊具の中で安全に楽しむことが出来るような配置となっている。</li> <li>・ダイナミックな運動を安心して楽しめるように、安全に配慮した環境や人員配置を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ遊びの中でも、声掛けや誘導、促し、環境設定を変化させ、個々の支援目標を達成できるように支援を行っている。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職が配置されており、幼少期に特化した療育が出来る環境となっている。</li> <li>・専門職が学習を通して、個人の認知・行動に繋がるよう支援している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活動作において基本的な決まり事（お片付けやお仕度など）はあるが、幼少期の時期に主体性や自主性、想像力を伸ばすために、自由選択での遊びの環境となっている。</li> <li>・学校の課題だけでなく、個々に応じた認知課題を行ったり、視覚化や実体験に基づいた遊びを取り入れ、解決できるよう支援している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何気ない自由遊びの中でも、専門職が関わることで、成長のきっかけを見つけ、更なる発展的な遊びを展開できるよう支援している。</li> <li>・短時間で集中して、課題を達成できるよう、環境設定や一対一の支援、課題調整を行っている。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用定数に対しての職員の配置人数が充実している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢に合わせて、時間を分けて設定しており児童に対してゆとりのある職員配置となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全支援員で研修や支援会議を行い、利用児の特性を十分に理解した上で、どの利用児にも支援ができるように、情報共有を行っている。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流の場が少ない（他事業所やこども園など）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日の時間限定での利用となっているので、利用できる施設などが限られてしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜日の開放日などを利用して地域の児童館や公民館、他事業所などのイベントに参加する機会を設ける。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭での共有が主となり、時短職員まで情報がリアルタイムに伝わらない時がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所として統一したい事案に対して、朝の申し送り、連絡ノートを利用し、職員間で情報が漏れなく共有できるようにする。</li> </ul>
3			